



声を聴く



特集

議長・市長にインタビュー P 2・3

酒永議長・土手市長の思いを聴く

市民の声 P 4・5

市内4会場で市民懇談会を開催

「江田島市が好きです」市長の思い

去る11月の江田島市長選挙で第4代市長に就任された土手三生市長。どのような考えや思いを秘めているのか伺った。土手市長の江田島愛、そして江田島市を未来につなげていきたいという意思が伝わるものだった。



これからの江田島市政について
 — 就任されたばかりですが、今後の江田島市政をどのように導きたいと考えますか。
 具体的な政策については、令和7年度からの次期総合計画を基本に、新年度予算編成に盛り込んでいきたいです。また、これからの施策を展開する際に、市民の皆さまに江田島市の状況を知っていただき、一緒に考えていくことが重要だと考えています。そのため、さまざまな場面を捉えて、共に市の経営を考えていきます。

市民に伝えたい江田島市の状況とは、どのようなことですか。
 人口減少は避けて通れない課題ですが、将来を見越し、地域コミュニティの維持をどのようにしていくのか、また、さまざまな課題を各地域の目線だけでなく、江田島市全体で見てもらうことが必要です。事業者に対しても同様です。

例えば、市民生活に欠かせない公共交通事業者の方とも膝を交えて今後の在り方を模索する必要があります。



市長・議長と広報委員

未来の江田島市のために

— 成果の上がっている政策は伸ばしたいとのことですが、他にもお考えは。既存の政策を少しでも発展させていくという意識は持っています。今すぐではありませんが、自分が携わるからにはオリジナリティーのある政策にも挑戦したい。まずは、5年先、10年先を考えて、人口減少対策になる事業を優先させたい。

今後も残したい江田島市像は。

豊かな自然環境と人の温かさを残したい。そのため、住みやすい環境づくりに取り組まねばなりません。こどもたちへの教育も、今の時代に適応した教育を推進しつつ、郷土愛を育む、「やとつみ教育」も継続したいです。ずっと島に住み続ける人にもちろんのこと、島を離れる人にも江田島市に住んで良かったと感じてもらえる「まち」にしたいです。

議長の考える今後の議会

12月13日、市長所信表明があった本会議の後、議会の役割や今後の方向性について、酒永光志議長の思いを尋ねた。



議長の職務とは

— 就任されて1年2カ月になりました。議長として一番重要な役割をどのように考えますか。
 地方自治法第104条にうたわれていますが、議場の秩序を保持すること、議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表することです。

— ご自身の理念や思想に変化はありましたか。
 やはり個としての活動は自粛せざるを得ない。それはもう覚悟のところ。一議員なら私見を述べられますが、それもできず、一番つらいところです。

— 市政への関心を高めるには、何が必要と考えますか。
 このたび市民懇談会を開きました。今後は、出前講座的なものへと改めていければという希望があります。

— 市内の各種団体は必ず総会をします。その時に「30分頂けませんか」と働きかけて伺う。
 来てもらうのではなく、われわれから伺うのです。

— 来てもらうのではなく、われわれから伺うのです。
 例えば3人ぐらいの班をつくり、いただいた議題について対話する。ざっくばらんな取り組みもいいと思うのです。「議員も来てくれるんだ」という姿を見せる必要があります。

「歩離れ」「歩離れない姿勢

— 執行部と議会は「車の両輪」と言われます。どう考えますか。
 車の両輪というのはずっと平行線です。交わることは決まっています。でも、進む方向は同じです。

— 「議員必携」に「議会は執行機関と歩離れ、歩離れない姿勢が大事」とあります。
 もう少し詳しく伺えますか。

— もっと詳しく伺えますか。
 執行機関に近づき過ぎて一つになっちゃったら、批判も監視も適正な政策判断もできなくなる。逆に、離れ過ぎたら適切な行政執行の正しい検証もできなくなる。

— 引っ付いても離れ過ぎていけない。その距離感を大事にするようにという、これは本当にいい言葉だと思うのです。
 車の両輪であるとともに、歩離れ、歩離れない姿勢が今後とも大事だと思います。



— 明岳前市長の政策を踏襲されるのではと聞きますが。
 成果が上がっている政策は伸ばしたい。前市長がつくった「一点」を「線」にするのが私の役目です。

— 例えば、市外への発信では、メディアの活用により、他の市町から江田島市は元気ですねという言葉をもらうようになりました。しかし、観光面ではまだまだです。魅力的なお店や体験を「点」から「線」につなげて、観光振興を進めていきたい。



11/22 広く市民の皆さん



かみむら ちかげ
上村 千景さん



当日いただいたご意見・ご要望は各会場の報告書をご覧ください。

市民懇談会で聴取した意見や知見を市政運営の参考にしていただけのこととはとても良いことだと思えました。世代の違う方々や外国人市民と一緒に話し合う市民懇談会を望みます。島に在住するためには、まず仕事の確保、交通手段が先決です。自然を残しつつさまざまな問題が解決し、皆が幸せに過ごせるよう意見を出し合い、市政に反映していただきたいです。

子育てで感じる不安を伝えたく、参加させていただきました。市議の方々は丁寧な話を聞いてくださり、若い世代の思いを伝えていくことの大切さを改めて感じました。

きだ けいちろう
木多 啓一朗さん

市民の声

議員と語るう！ 市民懇談会を開催しました

今年の市民懇談会は、11月に市内4会場で開催しました。どの会場も、令和6年度予算報告の後に共通のテーマ「江田島の人口減少を考える」について、意見交換を行いました。皆さんから頂いた声を紹介します。

当日は体調を崩して参加できずで残念。このような機会を今後もつくってほしいです。



うえだ やすこ
上田 康子さん
こうもと わかこ
河本 若子さん

議員の人との距離が近くて話しやすく良かった。男性陣と女性陣が分かれて、二つのグループでお話させてもらったので、男性陣がどんな話をしていただけたのか知りたいです。



かわかみ かずのり
川上 数則さん

この島で何かをしようとかんばっている人たちと、このような会をしてほしい。われわれの世代になると愚痴になるけれど。(笑)



11/26 スマイルサロンみややまの皆さん

議員に隣に座ってもらえたので、気安く言いたいことを言わせてもらえた。対面で話すのとは違う良さがあった。むしろ時間が足りないくらいだった。



いしまる もとかね
石丸 源兼さん

少子化問題について議員の方と意見交換ができたことや、ほかの参加者の方の思いを聞いたのがよかったです。



ブラッドショー ちか
千佳さん

議員の役割や予算のことなど丁寧に説明してもらえて、市政への理解が深まりました。また参加したいです。

B・Dさん



11/24 子育て世代の皆さん

自分の考えを市議の人に直接聞いていただける機会はないのでとてもいい体験になりました。市議の皆さんが私たちの意見を聞き出してくださいだったので、素直な気持ちを言いたのがよかったです。将来私たちの江田島が暮らしやすくなるように、バスの便と乗り継ぎをよくしてほしいと願います。

はまだ あんな
濱田 晏奈さん

人口減少について考えることはなかったのですが、いい機会になりました。今あるイベントはともいので残しつつ、宣伝はインスタグラムで発信すると、若者の目に留まりやすく、盛り上がると思います。また、新しい商業施設などで生活を豊かにしてほしいです。

いしもと まなみ
石本 愛海さん

江田島についてどんな政策をしているのかわからないまま参加しました。勉強して参加すればよかったと後悔しています。議員の方と直接話す機会はないので緊張しましたが、今回の話し合いで江田島をより身近に考えることができました。将来江田島に戻って働きたいと考えています。子育てのしやすい施設の拡大と産婦人科の確保を切望します。

のぶもり はるか
信森 遥香さん

話し合いの中で、江田島は外国籍の割合が多いことを知りました。私たち外国籍の人にも暮らしやすい江田島のまちづくりをお願いします。現在行われている国際ヒューマンフェスタはとてもいい交流ができています。ずっと大事にしてもらいたいです。

アルカシド ヤトさん



11/27 大柿高等学校の皆さん

議員の皆さんと話をしたことを家族に報告しました。その家族との話の中で、江田島のことも園や小学校は比較的新しく、災害が起こっても安心できるが、大柿中学校・大柿高校は設備が古く不安だという話になりました。災害がいつ起きても安心して暮らせる江田島のまちづくりを考えてください。

なかもと あいら
中本 愛桜さん

A 国の交付金要望や新たな歳入確保策を検討し、歳出の事務事業見直しと併せて取り組む必要があります。持続可能な形を追求するため、厳しい状況を踏まえながら粛々と進めます。

Q 補正額のうち約1億円が人事院勧告に伴う給与改定分となっている。令和7年度予算を組む際、行政サービスを下下させないようにするため、どのように取り組むのか。

A 財政調整基金残高は、令和5年度末で約48億円です。ずっと取り崩せるわけではありませんので、精査しながら予算編成を行いたいと考えています。

Q このたびの補正に伴い、財政調整基金を1億9000万円ほど取り崩したが、今後、限りのある基金の取り崩しに対してどのように考えているか。

こんな質問が出ました

主なものは、人事院勧告に伴う給与費の改定、防波堤の修復工事、11月の豪雨に伴う土砂撤去費用等の増額で、2億3003万2000円の増額補正です。

Point 2

一般会計補正予算を可決しました。

議案第95号 令和6年度江田島市一般会計補正予算(第5号)

主な議案の賛否

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 一…議長職(議長は採決に加わりません)

	宮下	算本	上本	平本	美濃	古居	長坂	岡野	平川	沖	沖元	上松	吉野	浜西	山本	酒永	
予算	令和6年度江田島市一般会計補正予算(第5号)																
	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	
条例の改正・廃止	令和6年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)																
	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	
その他	江田島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について																
	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
発議	江田島市やすらぎ交流農園設置及び管理条例を廃止する条例案について																
	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	
発議	公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて																
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
発議	公の施設の指定管理者の指定について																
	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
発議	核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を日本政府に求める意見書案について																
	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-

こんなことが決まりました!

12月定例会

会期 12/13 ~ 25
 議案…… 22件
 選挙…… 1件
 同意…… 1件
 諮問…… 1件
 報告…… 2件
 発議…… 4件

この中から三つを詳しく解説!

全ての議案名および議案の議員別賛否は、市議会ホームページでご覧いただけます。



定例会

議員別賛否

本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅のパソコンやスマートフォンから視聴できます。



江田島市議会 中継 検索

Point 1

幸ノ浦集会所を設置します。

こんな質問が出ました

幸ノ浦老人集会所を幸ノ浦集会所に変更します。

Q 公共施設の再編整備により、大幸交流プラザが新設されている。それにもかかわらず、幸ノ浦老人集会所を廃止や地元譲渡せず、幸ノ浦集会所に変更し、市の管理施設として残すのはなぜか。

A 地域の拠点および災害時の一時避難所になっているためです。また、集会所の土地が宅地ではなく用悪水路で建物の登記ができず地元譲渡ができないため、当面、暫定的に市の集会所として残します。

Q 市が管理し続けるのか。将来的な方向性は。

A 使わなくなるか、避難所を移すことができれば、幸ノ浦集会所は廃止します。



Point 3

市所有船舶の老朽化に伴い船舶を建造します。

議案第92号 中町ノ宇品航路船舶建造工事請負契約の締結について

中町ノ宇品航路の市所有船舶は老朽化が進み、部品供給も終了しているため、地域の生活交通を維持するため新たに船舶1隻を建造します。

契約金額 4億7597万円
 請負業者 瀬戸内クラフト株式会社
 工期 令和9年2月28日まで

こんな質問が出ました

Q 昨年度新造した瀬戸ブルーと比べて、重量やサイズがほぼ同型にもかかわらず、船の価格が2600万円ほど高い原因は。

A 近年の物価高騰が主な原因となっています。



船舶イメージ図



古居 俊彦

破れやすいごみ袋、改善を！

答 令和7年夏ごろに改善した次期のごみ袋となる見込みである



市長 現在の第2埋立地を拡張し、(仮)第3埋立地を整備する計画としています。現在、地権者への事業

問 次期の環境センターの計画はどのようになっているのか。

市長 平成16年度から令和5年度までの20年間の平均埋め立て量は、年1284立方メートルです。今後このペースで埋め立てを行うと、約14年後の令和20年ごろに満量になると見込んでいます。

問 環境センター内の不燃ごみの量について。

市民生活部長 ポリエチレンを再資源化した原料であるため、二酸化炭素の排出量が抑えられ、地球環境に優しい素材です。再資源化した原料を使用すると、以前の原料よりもプラスチック使用量が減少し、軽量化がはかられ、ごみの焼却費の削減につながります。令和7年夏ごろに次期のごみ袋となる見込みです。

問 令和6年度発注のごみ袋について苦情が多いのではないか。

計画案の説明を行っており、今後、用地を取得していきたいと考えています。新設する施設については、整備後の維持管理を抑制し、鳥獣被害対策を講じた被覆型の最終処分場を整備する計画としています。

おわりに

一般廃棄物として、ごみの処理費用には、毎年、多額の税金が使用されている。ごみ袋については、私たちが直接負担しており、日々使っているが、その利便性等も次期発注の際には考慮してもらいたいところである。また、環境センターについても、いつ大規模な災害が起きるか分からない。その点も考えて計画を進めていただきたい。



平本 美幸

新市長として市民に寄り添った支援を！

答 市民の皆さま、江田島市にお住まいの皆さまの福祉の増進に取り組む



市長 前市長が推進された「しごと」の創出、「子育てしやすい環境づくり」「健康寿命の延伸」「人のつながり・縁づくり」の四つの重点項目を受け継ぎます。そして、市民の皆さまが自分らしく輝き、つながり、支え合い、共に生きる中で、来るべき未来に備え、一歩先をいった視点で対応していくことで、将来にわたって持続可能な郷土・江田島市の実現をはかっていくことが、独自の視点です。

問 前市長から受け継ぐものとして、独自の視点は。

市長 本市の抱える最も大きな課題は人口減少であり、総合的なまちづくりを推進する中で対処していく必要があると考えています。そして、市民の皆さまとの絆を育み、安心して暮らすことができ温かいまちを目指して、サポート体制の整備や関連施策の推進にしっかりと取り組めます。

問 市長として任期中に特に優先して取り組みたい課題や、実現させたい施策は何か。

問 前市長の下で行われてきた施策は、外向きの施策が重点的に行われてきたのではないかと、市民の声をどう考え、今後どうするののか。

市長 市民の方からの声は認識しており、真摯に受け止めなければならぬと考えています。医療介護、子育て、しごと、交通、道路等のインフラなど、分野は多岐にわたりますが、お住まいの市民の皆さまや頑張っておられる地場産業の皆さまなど、住みよさや活力づくりにしっかりと取り組めます。

※多文化共生社会についても質問しました。



市の考えを問う

一般質問

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。

質問者 8人

- 1 岡野 数正 海洋ごみ対策 カキ養殖一大産地の江田島市の責任は！
- 2 古居 俊彦 破れやすいごみ袋、改善を！
- 3 平本 美幸 新市長として市民に寄り添った支援を！
- 4 長坂 実子 不登校対策に教育支援センター設置による支援を！
- 5 宮下 成美 沖まちづくり協力隊を契機に地域活性化人材の活用を！
- 6 平川 博之 認知症の予防。見守り体制強化促進を！
- 7 上本 雄一郎 早瀬大橋の工事見学会の実施を！
- 8 筧本 語 増え続ける出勤経費の抑制に、救急車有料化の検討は！



岡野 数正

海洋ごみ対策 カキ養殖一大産地の江田島市の責任は！

答 主要産業として守り育てる一方、海洋ごみ回収と流出源対策を講じる必要がある



問 本市は全国トップを競うカキの一大産地であり、カキ養殖はまちの基幹産業の一つである。一方、カキいかに利用する発泡スチロール製フロートやカキパイプなどの漁業関連ごみも多く発生している。どう考えるか。

市長 本市のカキ養殖は、瀬戸内海の養殖に適した環境を有しており、生産量は全国トップクラスです。まのちの主要産業として、これからも守り育てていく必要があると考えています。その一方で、カキ養殖で使用する発泡スチロールやカキパイプなど海洋ごみの流出が課題となっています。カキ養殖事業者も対策を講じていますが、課題解決には至っていない状況です。

問 美しい海を守るため、今後どのように取り組んでいくのか。

市長 海の清掃活動は委託業者やボランティア団体により実施していただいています。劣化した発泡スチロール製フロートは衝撃を受けると破砕し細かくなることから回収が困難になります。そうしたことから、流

出源対策を講じる必要があると考えています。

問 流出源対策として、発泡スチロールの破砕流出や剥離防止対策が進んでいると聞いているが、どのような方法があるのか。

産業部長 発泡スチロール製フロートにカバーをすることや、硬質製フロートなど耐久性の高いものへの転換があります。

問 カキ養殖業の方々に、こうした取り組みに協力いただくような働きかけや、具体的な支援はできないか。

市民生活部長 従来使用しているフロートではなく、耐久性を高めた発泡スチロール製フロートや硬質フロートの利用促進につながるような支援制度について、検討します。



海岸に漂着している海洋ごみ



平川 博之

認知症の予防。見守り体制強化促進を！

答 地域・関係機関と連携し、見守り体制強化、認知症に対する理解促進をはかる



問 本市の認知症患者数は、
福祉保健部長 認知症、ま

問 見守り体制強化について問う。

市長 「江田島市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」で、認知症対策の推進を基本施策として掲げ推進しています。予防強化の取り組みとして認知症を早期に発見し、認知症の方・家族が適切な支援を受けられるよう、認知症初期集中支援チームを設置し、相談会・講演会を開催しています。

問 認知症の方の予防強化について問う。



長坂 実子

不登校対策に教育支援センター設置による支援を！

答 教育支援センター設置の早期実現に向けて取り組む



問 どのような構想か。

教育部長 学校自体に抵抗があり登校できない児童生徒もいます。学校外の教育支援センターは、本市の教育環境の整備に大きく寄与するため、早期の実現に向け取り組めます。

問 本市の豊かな自然との触れ合いが持てる環境も含めて検討できないか。

教育部長 あくまで学びの保障、登校や社会的自立の

問 こどもの居場所づくりをどう考えているか。

市長 現在の策定中の「市こども計画」でこどもの居場所づくりの方向性や取り組み内容を掲げ、こども施策を推進します。

問 本市は活動助成事業やえたじマイレージポイント事業により、高齢者の通いの場を普及した実績がある。多様なこどもの居場所とこどもの参加が増えるように支援が有効では。

福祉保健部長 学習の場や体験活動、こども同士の交流、多世代との交流は非常に大切な経験です。活動への助成は有効なものでしっかりと検討します。

問 学校に抵抗があるこどものことを考えた不登校支援を充実させ、全てのこどもが安心して学べる教育環境にしたい。

福祉保健部長 地域で安心して生活を送るため、見守り体制のさらなる充実が必要であると考えています。今後も多くの関係者により、見守り・声かけができるよう、協議・連携をはかっていきます。



福祉保健部長 認知機能低下が疑われる人を早期に見つける「物忘れ相談プログラム」という機器がありますが、高額なため、まずは、広島県国民健康保険団体連合会の無償貸出制度を利用して、関係機関・講演会・認知症カフェ等で、市民の皆さまに周知していきます。



上本 雄一郎

早瀬大橋の工事見学会の実施を！

答 事業主体である広島県や工事関係者と見学会の実現に向けて協議をしていきたい



問 工事見学会の開催は、早瀬大橋に対する市民の理解と愛着を深めるのみならず、インフラ施設の維持管理一般に対する理解増進をはかる上でも、有効な手法と考えるがどうか。

市長 開通から50年以上が経過し、老朽化が進んでいるため、広島県が事業主体となり、平成27年度から耐震補強と合わせた補修工事を進めています。

問 令和5年10月に架橋50周年を迎えた早瀬大橋は、大規模な補修工事等が進められている。通勤や通学、通院の車のみならず、本市の救急車が日夜往来するこの橋は、われわれ市民にとって、「生命の橋」である。工事の概要はどうか。

市長 現在は全長623・5メートルのうち、約100メートルの区間のみ発注済みで、請負額は約22億円の大規模な工事となっています。残る上部工事も相当な規模となること予想されるため、着実な事業の推進を図り、県に要望していきます。



大規模な補修工事等が進む早瀬大橋

※中町・高田/宇品航路の今後の在り方についても質問しました。

市長 現在策定中の「次期インフラ整備計画」では、基本的方針の一つに「次世代へつなぐインフラマネジメント」を掲げています。それには、限られた財源の効果的な投資が不可欠であり、市民の皆さまに施設の存在や役割について、幅広くご理解いただく必要があると考えています。



宮下 成美

沖まちづくり協力隊を契機に地域活性化人材の活用を！

答 成果を出すことで、他の地域においても隊員の任用を希望する声が上がると、取り組んでいく



問 沖まちづくり協力隊はどのような活動を想定しているか。

市長 沖まちづくり協力隊は、沖まちづくり協議会の要望を受けて募集され、沖地区の現状と課題の整理、課題解決のための取り組みの立案・実行、協議会の活動支援を共に行っていたことを期待されています。

問 業務内容や活動が隊員丸投げのようにならないか。

企画部長 沖まちづくり協議会では、しっかりとコミュニケーションを取ってサポートする旨の言葉を頂いていますし、市としても隊員の活動状況を把握し、双方の思いに行き違いが生じることがあれば調整をはかります。

問 業務や生活面の mismatchを防ぐために地域おこしインターンを活用する考えは。

企画部長 相当な業務量が発生することが見込まれるため、現在の体制を考えると実施については慎重にならざるを得ませんが、状況

問 集落支援員とは、地域の実情に詳しく、過疎地域の維持・活性化のため、地域の状況把握や住民間の話し合いを促進し、具体的な取り組みや地域運営組織を支える人材であり、地元からも採用することができる。



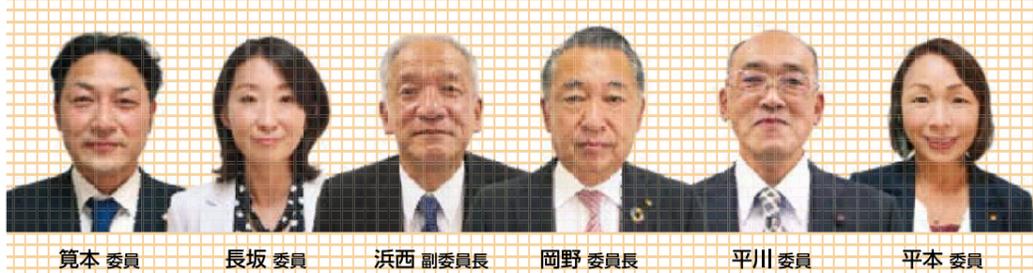
を勘案し、必要があれば検討していきます。

問 集落支援員制度(※)を活用する考えは。

市長 まちづくり協議会等との連携を密に行い、今後の在り方を検討する意欲を持つ地域があった場合は、集落支援員制度の活用も視野に協議したいと考えています。

問 地域おこし協力隊も集落支援員も活動費用等が政府から交付税措置される制度である。今後、人口や市の財政の縮小が進む中で地域が持続的であり続けるためには、交付税措置を含む政府の支援を柔軟かつ積極的に活用し、守るべきものを守りつつ、新たな挑戦にも果敢に取り組む必要がある。

おわりに 地域おこし協力隊も集落支援員も活動費用等が政府から交付税措置される制度である。今後、人口や市の財政の縮小が進む中で地域が持続的であり続けるためには、交付税措置を含む政府の支援を柔軟かつ積極的に活用し、守るべきものを守りつつ、新たな挑戦にも果敢に取り組む必要がある。



議会改革推進特別委員会

- 1 議会基本条例の検証について
- 2 議員の定数および報酬について
- 3 議会活動の活性化について

議員の定数および報酬について

江田島市の人口減少が急激に進む中、現在の議員定数(16人)が適当か、現在の報酬で議員の成り手があるのか、将来の議会の在り方も含め、今年11月の改選に向けて慎重に議論を行っている。

現在の報酬月額

・議長	41万円
・副議長	35万5000円
・議員	32万5000円

主な活動内容

- 10月24日 参考人の選定と意見聴取資料内容の検討
- 11月12日 正副委員長の役職加算について各委員の意見抽出
- 12月10日 意見聴取結果の分析と今後の対応を協議

問 救急車の有料化を導入した場合のメリット・デメリットは。

市長 メリットとしては、高度で専門的な医療を提供する大規模な病院が、本来の役割を果たすことができること、適切な救急医療体制の維持を支えると考えます。また、救急車利用の適正化を促せる可能性も期待できます。

一方、デメリットとしては、有料・無料の区別を、市民に正しく理解してもらうことが難しいという問題があります。そして、何より救急車が必要な際でも利用をためらうケースや、逆に選定療養費を払えば軽度の症状でも、救急車を要請できるといった誤解を招く可能性もあります。

広島県内において、現在このような取り組みを実施している医療機関はないと理解していますが、今後、県内の医療機関が同様の取り組みを始める際には、市民の皆さまが必要な場合にちゅうちょせず救急車を呼べるよう、適切な広報活動の実施に努めます。

問 救急車の適正な利用を推進する取り組みは。

市長 市民に利用される公施設や市内事業所と連携して、救急車を適正に利用するためのポスターを掲示しています。また、市広報紙、ホームページやフェイスブックなどの各種広報媒体により啓発活動を行っている。消防本部の実施する「救急出前講座」や「ここにQQ教室」でも同様の取り組みを行っています。さらに最近では、全国的なキャンペーンを展開している9月9日救急の日、市内4カ所の商業施設や港において、消防職員と女性消防団員がリーフレットの配布などを行い、理解を深めていただいています。



出動経費抑制に、救急車の適正利用の啓発を！

また、救急車を要請するか判断に迷ったときに相談できる救急相談センター「#7119」、こども医療電話相談「#8000」や、全国版救急受診アプリ「Q助」の活用も呼びかけています。

常任委員会はYouTubeでご覧になれます！

配信中

江田島市議会では、令和6年12月より、常任委員会の録画映像を動画で配信しています。下記QRコードを読み取り、注意事項をご確認の上、YouTubeバナーをクリックしてください。動画配信サイト (YouTube) へ移行し、視聴できます。



- 《QRコードの読み取り方》
- ①スマートフォンのホーム画面から標準カメラアプリ を起動します。
 - ②カメラの画面でQRコードをスクリーン内に収まるように表示させます。
 - ③QRコードの読み取りが成功すると、リンク先が表示されます。
 - ④リンク先をタップすると、ウェブページを開くことができます。

QRコードの読み取りが困難な方は、江田島市議会 YouTube で検索

参考人制度を活用した調査の概要

調査方法

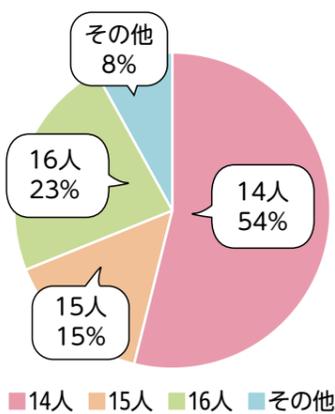
議会基本条例に定める「参考人制度」を活用し、本委員会を選定した22団体38人を対象に書面による聴取を行い、26人から回答を得た。



全ての調査結果はこちら

調査結果

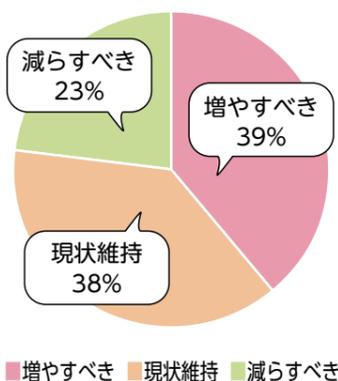
質問1 議員定数について14人、15人、16人の3案の中で適当と思われる議員定数は。



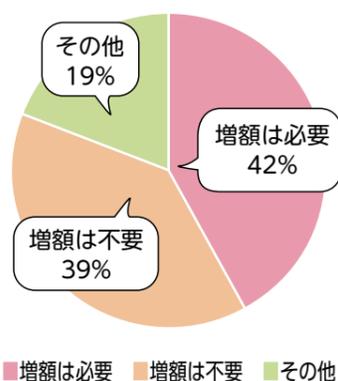
主な意見

・人口が2万人を切る現状において、今後の人口減少を考えると14人が妥当であり、定数減を行うタイミングとしても適当ではないか。

質問2 今後の議員報酬はどうかあるべきと思いますか。



質問3 正副委員長への報酬増額についてどう考えますか。



主な意見

・若い世代が議員活動に専念することができ、議員に安心して立候補できるようにすることが重要。
・物価上昇および急速な民間の賃金上昇に対しても考慮すべき。

総務文教常任委員会

総務部、企画部、危機管理監、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防および教育委員会の所管に関する事務ならびに他の委員会に属さない事務



宮下 委員 古居 委員 酒永 委員 山本 副委員長 平川 委員長 浜西 委員 岡野 委員 平本 委員

行財政改革審議会の審査状況について

行財政改革審議会の内容について、市議会から代表者が出席しているが改めて、総務部に説明を求めた。審議会は、2回開催されており、現在の状況（中間報告）の説明を受けた。

主な活動内容

聞き取り調査

10月30日（総務部）



第5次江田島市行財政改革大綱(素案) (第4次大綱の成果)

- ・財産の有効活用と売却収入
- ・イベントや補助金の見直し
- ・民間委託による経費の削減(課題)
- ・人件費の増加
- ・使用料手数料の見直しが進まない
- ・事務事業総点検による見直しが進んでいない

調査の概要

事務事業総点検の実施

55事業の点検を行なった。
(継続36事業、事務改善9事業、拡充8事業、縮小1事業、移管1事業)

財政運営の目標

市総合計画の着実な推進を支えるため、行財政運営を将来的に安定化させること。

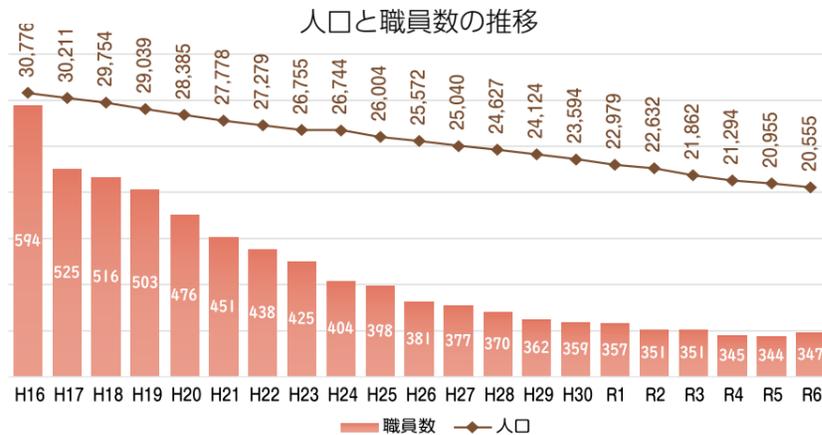
- 基本方針を定めて取り組む。
- 歳入規模に見合った持続可能な財政運営
- 人口減少を見据えた行政運営
- 時代に沿った意識改革と人材確保等の推進

定員適正化計画についての概要

- 第3次定員適正化計画により市職員数を適正化。
- 人件費の抑制と安定した人材の確保
- 安定した行政サービスの提供
- 業務方法や組織体制を見直し、職員定数を適正に管理。

委員会の主な意見

- 時間と手間がかかるが、点検シートの作成経験者を増やし事業見直しを進めていただきたい。
- 人件費の上昇が懸念されることから、職員数にも影響が及ぶ。
- DX・アウトソーシングを推進していただきたい。



産業厚生常任委員会

産業部、土木建築部、農業委員会、市民生活部、福祉保健部および福祉事務所の所管に関する事務



寛本 委員 沖 委員 上松 委員 上本 副委員長 長坂 委員長 吉野 委員 沖元 委員 美濃 委員

主な活動内容

聞き取り調査

10月25日（土木建築部）

各種計画の策定状況

- ・江田島市インフラ整備計画
- ・江田島市耐震改修促進計画(第3期)
- ・江田島市都市計画マスタープラン
- ・江田島市下水道事業経営戦略の改定
- ・江田島町小用(ウシイシ地区) 製造業用地の売却完了

12月17日（福祉保健部・産業部）

江田島市こども計画

地域特産品販売所

現地調査



11月25日（県水道広域連合企業団）

新第2配水池

・配水池の新機能について

調査の概要

地域特産品販売所 (えたじまーれ) について

目的

本市の農水産物や加工品などの販売、観光案内、交流の場となる地域特産品販売所(※)は、1月末のプレオープンを目指して開設準備が進められている。開設時期の遅延などがあったことから、進捗状況や運営体制等について調査する。

※市観光協会、JAひろしま、市商工会などで構成される「江田島市6次産業化・地産地消推進協議会」が支援の主体となり、大柿町飛渡瀬の江田島アグリセンターの一部を活用して開設する施設。

委員会の主な意見

- 観光の拠点となる施設なので、しっかりと本市をPRする体制を整えてオープンしていただきたい。
- 市への負担がかからない運営を心がけるべきである。



地域特産品販売所 (えたじまーれ) 完成イメージ



新第2配水池現地調査の様子



教えて！ 議会のこと

市議会ってどんなことをしているの？
わがまちのマスコットキャラクターたちから投げかけられる質問に議会広報特別委員会がお答えします！

今号の質問者

江田島市社会福祉協議会
「しおかぜネット」応援キャラクター

ハマちゃん

初期（平成18年）は無表情でクールさが売りでしたが、徐々に表情が豊かになって、今では元気いっぱいピチピチしてます。



ハマちゃん

最近よく耳にする委員会ってどんな制度なの。
議会とどんな関係なんだろう。

委員会というのは、地方公共団体の各部門に属する事務に関して、議員が分かれて調査・審査を行ったりするんだよ。



委員



ハマちゃん

どんな委員会があるのかなあ？

議会の運営に関することを決定する議会運営委員会と一般的な常任委員会、特定の案件に関する特別委員会の3種類に分かれるんだ。



委員



ハマちゃん

委員会って、ボクたちも見られるの？
どんな話をしているか見てみたいなあ。

江田島市議会では、令和6年12月議会から総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会がユーチューブで見られるようになったんだ。詳しくは12ページで案内しているから見てね！



委員



ハマちゃん

それじゃあ、見てみよう！

次回の定例会は
2月18日（火）午前10時開会予定

※日程は変更となる場合があります。
詳細は、定例会が開催されるおおむね1週間前に
江田島市議会ホームページに掲載します。



議会広報特別委員会
委員長 宮下 成美
副委員長 上本 雄一郎
委員 長坂 実子
委員 古居 俊彦
委員 美濃 英俊
委員 寛本 語

古居 俊彦
委員一同、議会活動に一層の関心を持っていただきたく、市政21年目となる議会だよりの作成に取り組んでまいりますので、どうか温かいご支援をよろしく願います。

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかな年を迎えられたことと思います。
昨年は新市長が誕生し、江田島市も大きく変わってこのうとしております。議会についても、委員会を中心とした改革を行い、新しくユーチューブにて視聴できるようになりました。皆さまからの声をより多く市政に届けたいと思っております。
一方で、各種経費の上昇による予算の圧迫など、市民の負担がますます増えて、私たちの江田島が、暮らしづらくなりつつあります。何とか市議会が良い知恵を出して取り組んでいきたいと思っております。

編集後記

●発行／江田島市議会 ●編集／議会広報特別委員会 ●問い合わせ／江田島市議会事務局

〒737-2193 広島県江田島市江田島町中央1丁目1番1号 TEL (0823) 42-6310 FAX (0823) 42-6315